



平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 27 年 11 月 6 日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 11 月 12 日
 配当支払開始予定日 平成 27 年 12 月 7 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	18,414	3.2	1,541	23.3	1,332	△20.6	1,030	△30.7
27 年 3 月期第 2 四半期	17,841	21.8	1,250	60.3	1,679	65.5	1,487	83.5

(注) 包括利益 28 年 3 月期第 2 四半期 957 百万円 (△41.6%) 27 年 3 月期第 2 四半期 1,639 百万円 (60.1%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 2 四半期	51.61	51.08
27 年 3 月期第 2 四半期	74.65	74.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	46,833	28,713	61.1
27 年 3 月期	48,668	27,991	57.4

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 2 四半期 28,614 百万円 27 年 3 月期 27,916 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	—	5.00	—	13.00	18.00
28 年 3 月期	—	8.00	—	—	—
28 年 3 月期 (予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	37,500	3.4	2,450	7.0	2,450	△25.4	1,950	△28.4	97.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期 2Q	22,272,000株	27年3月期	22,272,000株
② 期末自己株式数	28年3月期 2Q	2,313,175株	27年3月期	2,313,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期 2Q	19,958,825株	27年3月期 2Q	19,925,448株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和を背景に緩やかな回復基調にありますが、海外市場においては、中国経済の減退等から先行きは不透明な状況であります。

当社グループが所属する射出成形機業界におきましては、国内および北米市場については、需要が比較的堅調でありましたが、中国をはじめとした新興国で設備投資需要が鈍化傾向にあります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機の需要が堅調に推移したこと等により売上高合計は184億1千4百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が141億1千9百万円（前年同四半期比5.2%増）、部品売上高が26億6千3百万円（同8.4%増）、金型等の売上高が5億4千5百万円（同4.2%増）とそれぞれ増加しましたが、周辺機器売上高は、10億8千6百万円（同24.2%減）と減少いたしました。

利益面につきましては、射出成形機等の売上高が堅調だったことから営業利益は15億4千1百万円（前年同四半期比23.3%増）となりました。一方で、為替差損3億1百万円を計上したこと等により経常利益は13億3千2百万円（前年同四半期比20.6%減）となり、これらの結果、親会社に帰属する四半期純利益は10億3千万円（同30.7%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

① 日本

自動車関連等の需要が堅調だったことから売上高（外部売上高）は93億5千5百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は13億8百万円（同76.1%増）となりました。

② アメリカ地域

自動車関連等を中心に需要が堅調だったことから売上高（外部売上高）は46億4千3百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は3億9千6百万円（同17.4%増）となりました。

③ アジア地域

需要が総体的に伸び悩むなか、東アジア地域でIT関連の需要が一部堅調だったことから、売上高（外部売上高）は44億1千5百万円（前年同四半期比1.7%増）と増加しましたが、価格競争の激化および営業費用の増加等によりセグメント利益は△1億7百万円（前年同四半期実績は1億1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債および純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億3千4百万円減少し、468億3千3百万円となりました。主たる増加要因は、商品及び製品の増加6億1千3百万円であり、主たる減少要因は、現金及び預金の減少8億8千1百万円および受取手形及び売掛金の減少8億2千5百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25億5千6百万円減少し、181億2千万円となりました。主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少17億1百万円および長期借入金の減少3億8千4百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億2千1百万円増加し、287億1千3百万円となりました。主たる増加要因は利益剰余金の増加7億7千万円であります。

② 連結キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1億7千3百万円（前年同四半期実績は16億5千4百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、税金等調整前四半期純利益13億3千2百万円および売上債権の減少額4億1千9百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、仕入債務の減少額13億8千8百万円およびたな卸資産の増加額8億2千6百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△2億8千6百万円（前年同四半期実績は△4億5千7百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出2億8千3百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△8億9千6百万円（前年同四半期実績は△4億7百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出3億8千4百万円および配当金の支払額2億5千8百万円であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ5億5千7百万円減少し68億7千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、本資料の開示時点において、平成27年5月8日に公表した各予想値を修正しておりません。

今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社につきましては、該当事項はありません。

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

(アジア地域)

中国における販売体制を再編・強化するために設立した「日精樹脂工業科技（太倉）有限公司」を連結子会社としております。

この結果、平成27年9月30日現在では、当社グループ（当社及び当社の子会社）は、当社、連結子会社13社及び非連結子会社5社より構成されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の「持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準等第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,758	6,877
受取手形及び売掛金	11,149	10,324
商品及び製品	7,189	7,802
仕掛品	3,363	3,433
原材料及び貯蔵品	3,850	3,961
未収入金	2,741	2,345
その他	1,169	1,257
貸倒引当金	△173	△413
流動資産合計	37,048	35,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,204	3,158
機械装置及び運搬具(純額)	1,366	1,249
土地	4,483	4,481
その他	309	360
有形固定資産合計	9,363	9,250
無形固定資産	350	363
投資その他の資産		
投資有価証券	1,555	1,336
その他	365	309
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	1,905	1,631
固定資産合計	11,619	11,245
資産合計	48,668	46,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,501	9,800
1年内返済予定の長期借入金	769	769
未払法人税等	163	316
引当金	322	327
その他	2,320	1,805
流動負債合計	15,076	13,018
固定負債		
長期借入金	1,836	1,452
退職給付に係る負債	3,269	3,284
その他	493	365
固定負債合計	5,599	5,101
負債合計	20,676	18,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,478	5,478
利益剰余金	17,149	17,920
自己株式	△1,109	△1,109
株主資本合計	26,881	27,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	354
為替換算調整勘定	765	697
退職給付に係る調整累計額	△111	△88
その他の包括利益累計額合計	1,035	962
新株予約権	75	98
純資産合計	27,991	28,713
負債純資産合計	48,668	46,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	17,841	18,414
売上原価	12,640	12,513
売上総利益	5,201	5,900
販売費及び一般管理費	3,951	4,359
営業利益	1,250	1,541
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	10	11
為替差益	301	—
その他	121	97
営業外収益合計	440	113
営業外費用		
支払利息	6	6
為替差損	—	301
その他	4	14
営業外費用合計	11	322
経常利益	1,679	1,332
特別利益		
退職給付制度終了益	99	—
特別利益合計	99	—
税金等調整前四半期純利益	1,778	1,332
法人税等	291	302
四半期純利益	1,487	1,030
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,487	1,030

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,487	1,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	△26
為替換算調整勘定	△15	△68
退職給付に係る調整額	118	23
その他の包括利益合計	151	△72
四半期包括利益	1,639	957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,639	957

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,778	1,332
減価償却費	354	365
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	240
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△126	37
受取利息及び受取配当金	△17	△15
支払利息	6	6
売上債権の増減額(△は増加)	△394	419
たな卸資産の増減額(△は増加)	△110	△826
未収消費税等の増減額(△は増加)	33	468
仕入債務の増減額(△は減少)	276	△1,388
その他	105	△252
小計	1,915	387
利息及び配当金の受取額	18	15
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△272	△223
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,654	173
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△380	△283
有形固定資産の売却による収入	9	2
無形固定資産の取得による支出	△64	△52
その他	△22	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△457	△286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△240
長期借入金の返済による支出	△260	△384
配当金の支払額	△119	△258
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△407	△896
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	756	△1,061
現金及び現金同等物の期首残高	6,674	7,755
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	180
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,431	6,873

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	9,034	4,466	4,341	17,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,972	4	2,322	9,299
計	16,006	4,470	6,663	27,140
セグメント利益	742	338	101	1,183

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,183
セグメント間取引消去	67
四半期連結損益計算書の営業利益	1,250

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	9,355	4,643	4,415	18,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,600	2	2,650	11,253
計	17,955	4,646	7,066	29,667
セグメント利益	1,308	396	△107	1,597

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,597
セグメント間取引消去	△55
四半期連結損益計算書の営業利益	1,541

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。